

# Plantronics MDA220 USB

ユーザーガイド

# 目次

ようこそ	3
パッケージ内容	4
MDA 220 の基本	5
アクセサリ	6
ヘッドセットの接続	7
固定電話：接続および通話	8
固定電話（標準）	8
設定の確認とテスト通話	9
固定電話+ HL10 と電源（別売り）	10
ダイヤルトーンが聞こえない場合	11
コンピュータ：接続および通話	12
コンピュータを接続し、電話をかける	12
MDA 220 LED インジケータ	13
通常の使用方法	14
着信に応答する	14
発信する	14
通話を切り替える	14
トラブルシューティング	15
固定電話	15
ソフトフォン	16

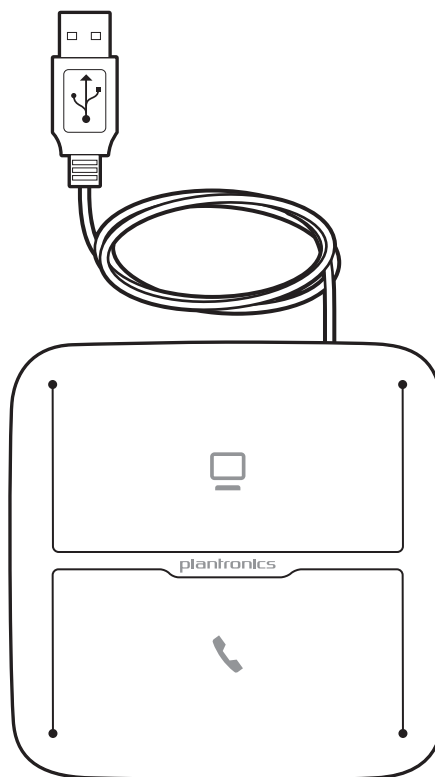
# ようこそ

Plantronics 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。このガイドでは、MDA220 USB オーディオスイッチャーの設定方法と使用方法を説明します。

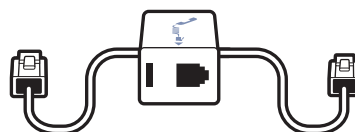
製品を設置および使用する前に、別添付の安全に関する注意事項をお読みください。

# パッケージ内容

MDA 220 オーディオスイッチャー

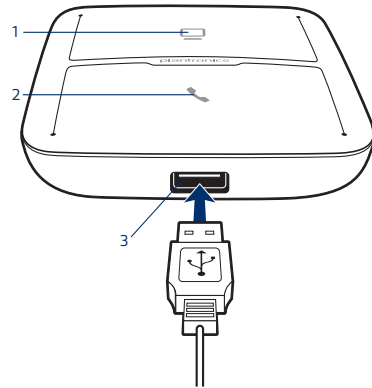


電話機用インターフェースケーブル

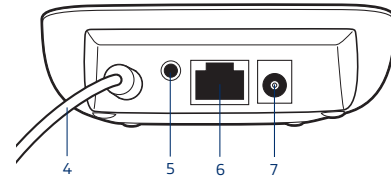


# MDA 220 の基本

前面/上面



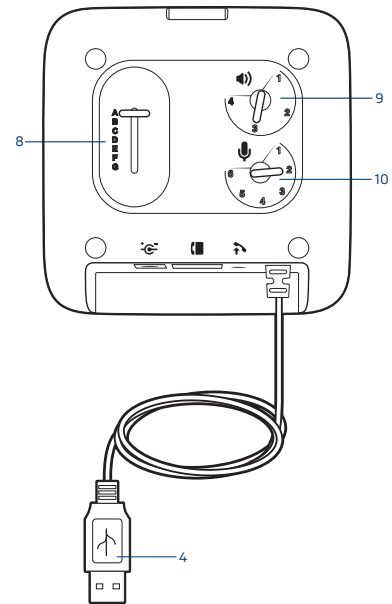
背面



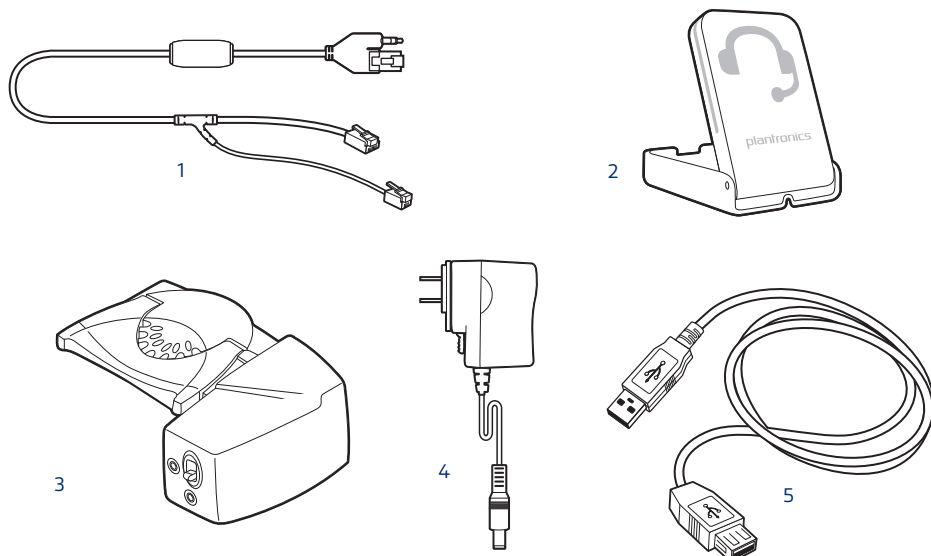
- |                                  |                         |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1 コンピュータのオーディオボタン                | 6 電話機用インターフェースケーブルジャック* |
| 2 固定電話のオーディオボタン                  | 7 電源ジャック*               |
| 3 USB ヘッドセット/Bluetooth アダプターポート* | 8 設定スライドスイッチ            |
| 4 USB ケーブル (コンピュータに接続)           | 9 受話音量ダイヤル              |
| 5 ハンドセットリフター/EHS ジャック*           | 10 送話音量ダイヤル             |

\*アクセサリは含まれません

底面



# アクセサリ



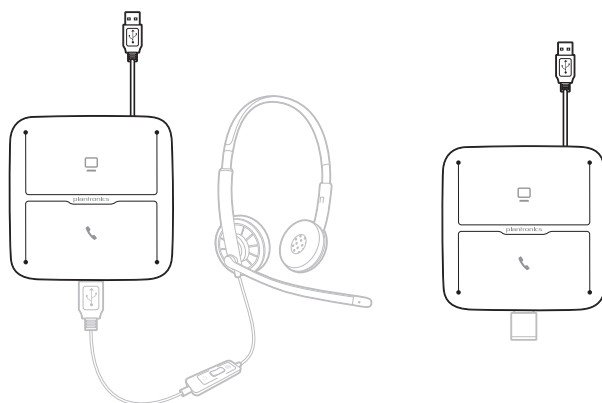
- 1 電子フックスイッチケーブル** 固定電話のハンドセットを、電子のかつ自動的にオフフック状態にします。ヘッドセットを使用して、リモートで着信応答/通話終了できます。
- 2 オンラインインジケータ (OLI)** コールがアクティブになるとライトが点滅します。通話中であることを他の人に知らせます。
- 3 HL10 リフター** ハンドセットを自動的に上げ下げします。ヘッドセットを使用して、リモートで着信応答/通話終了できます。
- 4 AC 電源** HL10 リフターを使用する場合に必要です。
- 5 USB 延長ケーブル** MDA 200 とコンピュータを接続する USB ケーブルを延長します。

[plantronics.com/accessories](http://plantronics.com/accessories) で別売りされているアクセサリ

# ヘッドセットの接続

Plantronics 対応 USB 有線ヘッドセットまたはワイヤレス USB ヘッドセットアダプターを MDA220 USB ヘッドセットポートに接続します。\*

**注** ヘッドセットは直接コンピュータに接続されているかのように機能し続けます。



\*対応ヘッドセットとワイヤレス USB ヘッドセットアダプターの一覧については、[plantronics.com/support](http://plantronics.com/support) を参照してください。

# 固定電話：接続および通話

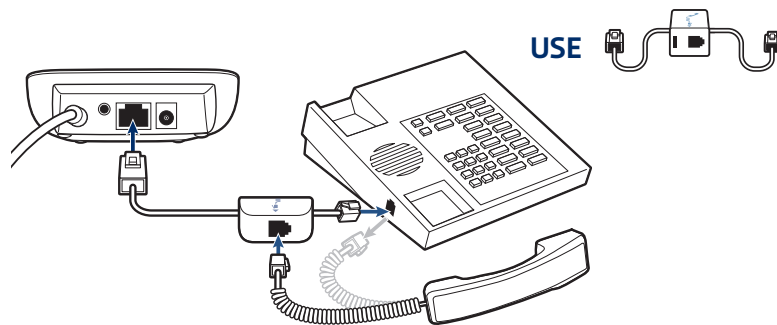
MDA220 を固定電話に接続するオプションは3つあります。

- 固定電話（標準）
- 固定電話+ HL10 リフターおよび電源（別売り）
- 固定電話+ EHS ケーブル（別売り）

**注** 固定電話（標準）または固定電話+ HL10 リフターおよび電源を使用する場合、下記に進みます。固定電話+ EHS ケーブルを使用する場合は、EHS ケーブル付属のEHS 入門ガイドまたは [plantronics.com/accessories](http://plantronics.com/accessories) で、設置方法を参照してください。

## 固定電話（標準）

- 1 電話機用インターフェースケーブルの一方の端をスイッチャーの背面に接続します。
  - 2 ハンドセットのカールコードを固定電話の底部から抜き、電話機用インターフェースケーブル配線接続ボックスに再度接続します。
  - 3 電話機用インターフェースケーブルのもう一方の端を、固定電話のハンドセット用ポートに接続します。
- 固定電話のハンドセットは、接続方法が異なるだけで引き続き機能します。

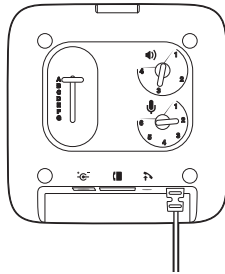


**注** ヘッドセットポートが内蔵されている電話機では、HL10 リフターを使用しない場合のみ、ヘッドセットポートを使用するようにしてください。その場合、電話に応答したり通話を終了するには、電話機のヘッドセットボタンとヘッドセットのコールボタンの両方を押す必要があります。

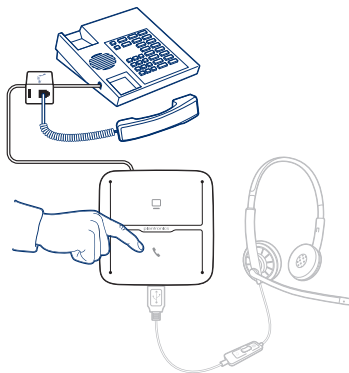


設定の確認とテスト通話

- 1 固定電話に音量コントロール機能がある場合は、音量を中レベルに設定します。
- 2 スイッチャーの底部で、設定スライドスイッチが「A」に設定されており、受話音量が3、送話音量が2に設定されていることを確認します。



- 1 ハンドセットを固定電話クレードルから取り外します（または MDA 220 製品を電話機の底面にあるヘッドセットコネクタに接続している場合は、電話機のヘッドセットボタンを押します）。
- 2 ヘッドセットを装着した状態で、MDA220 の固定電話通話ボタンを押します。

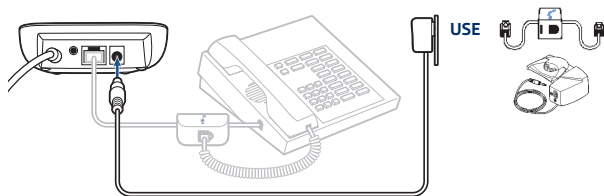


- 3 ダイヤルトーンが聞こえない場合は、聞こえるまで設定スイッチを A から G まで順に調整していきます。
- 4 固定電話からテスト発信をダイヤルします。相手はこちらの声をはっきり聞き取れることを確認します。場合によっては、相手に一時的または永続的なエコーがかかって聞こえることがあります。この場合は、設定が誤っています。ダイヤルトーンが聞こえらと思われる次のスイッチの設定位置で、手順 5 と手順 6 を繰り返します。
- 5 相手の声が大きすぎたり、ひずんだりしている場合は、必要に応じて受話音量ダイヤルを調整します。相手に異なる音量レベルで話してもらいます。
- 6 必要に応じて、大音量と中音量のレベルで話しながら送話音量ダイヤルを調整し、ほぼひずみのない音になっているか相手に尋ねます。
- 7 ヘッドセットのコールボタンを押して通話を終了し、ハンドセットを固定電話のクレードルに戻します（またはヘッドセット固有のジャックに接続している場合は、電話機のヘッドセットボタンを押します）。

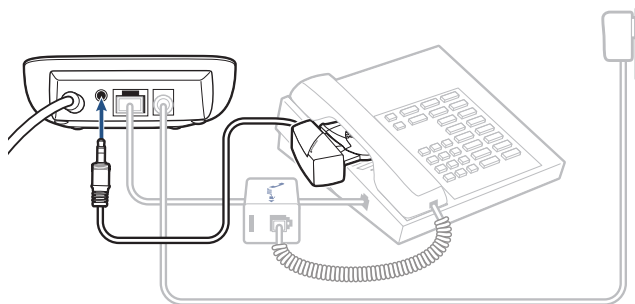
**注** HL10 リフターと電源を設置する場合は、下記に進みます。それ以外の場合は、「コンピュータ：接続および通話」に進みます。

固定電話+ HL10 と電源  
(別売り)

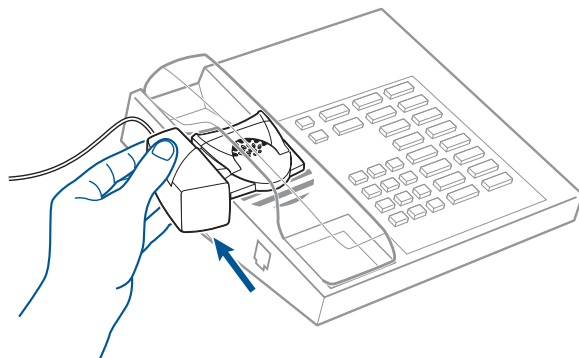
- 1 電源の片方の端を MDA220 背面の電源ジャックに差し込み、もう片方の端を通電中のコンセントに差し込みます。



- 2 ハンドセットリフターの電源コードを、ハンドセットリフタージャックにしっかりと取り付けます。



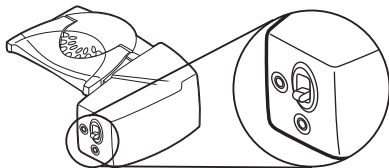
- 3 ヘッドセットを装着した状態で、リフターの本体が電話機の側面に触れるまでハンドセットリフターのアームを差し込みます。



- 4 ハンドセットのイヤープースに触れるくらいまで、リフターを上動かします。
- 5 ヘッドセットのコールボタンを押して、リフターを稼働させます。
- 6 ダイヤルトーンが聞こえる場合は、リフターが正しく設定されています。それ以上の調整は不要です。
- 7 リフターの底部にある3つの取り付け用テープから保護フィルムをはがします。
- 8 固定電話の最適な位置にリフターをそっと置きます。
- 9 しっかり押して固定します。

ダイヤルトーンが聞こえない場合

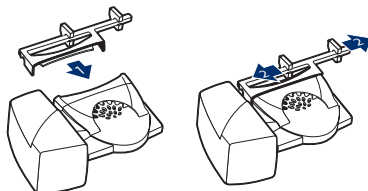
- 1 ダイヤルトーンが聞こえない場合は、リフターの高さ調整スイッチを、次に高い位置に上げます。



- 2 ダイヤルトーンが聞こえるまで、手順3~6を繰り返します。
- 3 ダイヤルトーンが聞こえたら、手順7~9の説明に従ってリフターを固定します。  
その他の部品（必要な場合）  
延長アームを使用すると、ヘッドセットリフターでヘッドセットを持ち上げたり、クレードルに戻したりする動作が安定します。

### 延長アーム

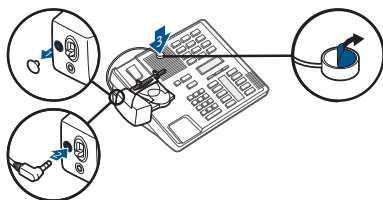
- 1 延長アームをリフターに取り付けます。
- 2 安定器具は、左右に動かすことができます。安定器具を受話器の両側にあて、受話器をはさみます。



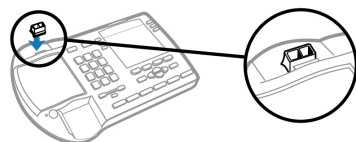
### 着信音用マイク

電話機のスピーカーがハンドセットの真下でない場合のみ、着信音用マイクを使用します。

- 1 リフターの背面にある着信音用マイクジャックのキャップを外します。
- 2 着信音用マイクプラグを接続します。
- 3 着信音用マイクの粘着テープをはがして、電話機のスピーカーの上に貼り付けます。粘着テープの保護フィルムをはがして貼り付けます。



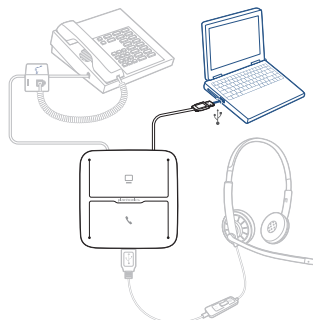
### Nortel 電話機のみ



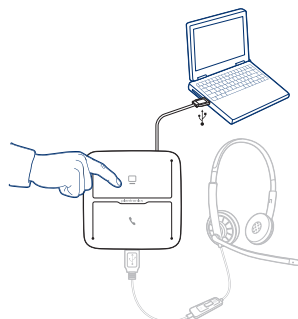
# コンピュータ：接続および通話

コンピュータを接続し、電話をかける

- 1 MDA220 の USB ケーブルをコンピュータに接続します。コンピュータ通話ボタン LED が緑で点灯します。



- 2 ヘッドセットを装着した状態で、コンピュータのソフトフォンからテスト発信をダイヤルします。



- 3 MDA220 のコンピュータ通話ボタンを押して通話を終了します。  
**注** コンピュータのソフトフォンで通話機能を使用するためには、Plantronics Hub をインストールする必要があります。plantronics.com/software を参照してください

# MDA 220 LED インジケータ

LED	LED の状態	意味
	緑で点灯	コンピュータのオーディオに接続（デフォルトの状態）
	緑で点滅	コンピュータに着信中
	黄色で点滅	アクティブなコンピュータのオーディオが保留中
	緑で点滅	固定電話に着信中
	緑で点灯	固定電話のオーディオに接続
	黄色で点滅	アクティブな電話のオーディオが保留中
 	両方のアイコンが 2 秒間緑で点滅	MDA220 が起動中 - 完了すると、ヘッドセットが接続されていない場合、両方の LED がオフになります。ヘッドセットが接続されている場合は、コンピュータアイコンが緑で点灯したままになります。
	赤で点灯	ファームウェアアップデート処理中 - 完了後にファームウェアアップデートの手順に従ってクリアします。
	赤で点灯	過電流状態 - 電源なしで HL10 を使用中。MDA220 を取り外し、電源アダプターを追加し、MDA220 をもう一度コンピュータに接続します。
	赤で点滅	ヘッドセットの故障 - ヘッドセットを交換して MDA220 の電源を入れ直します。

2つのボタンのいずれかを押すと、電話回線/音声チャンネルが開きます。状況により、電話からダイヤルするまでダイヤルトーンが聞こえない場合があります。これらのボタンを使用すると、別の電話回線/チャンネルに切り替えることができます。

# 通常の使用方法

## 着信に応答する

固定電話またはコンピュータから着信に応答する最も簡単な方法は、着信音が鳴ったら、点滅している LED（固定電話またはコンピュータ） 通話ボタンを押すことです。また、ヘッドセットにコード搭載コントロールボタンがある場合は、このボタンを押して着信に応答することもできます。

**注** 固定電話のリモート着信応答/通話終了機能では、EHS ケーブルまたは HL10 リフターを使用する必要があります。詳細は [plantronics.com/accessories](http://plantronics.com/accessories) を参照してください。

**注** コンピュータのリモート着信応答/通話終了機能はソフトウェアの機能であり、互換性のあるソフトフォンに依存します。ソフトウェアをインストールしない場合、または互換性のあるソフトフォンがない場合、まずヘッドセットのコールボタンを押す必要があります。詳細は [www.plantronics.com/SoftphoneCompatibility](http://www.plantronics.com/SoftphoneCompatibility) を参照してください。

## 発信する

### 固定電話からの発信

- 1 ヘッドセットを装着して、MDA220 の固定電話通話ボタンを押します。
- 2 ヘッドセットをクレードルから取り外すと、ダイヤルトーンが聞こえます。  
**注** リフターまたは EHS アクセサリーを取り付けている場合、この手順は自動になります。アクセサリーの完全な一覧については、[plantronics.com/accessories](http://plantronics.com/accessories) をご覧ください。
- 3 固定電話を使ってダイヤルします。
- 4 通話を終了するには、固定電話の通話ボタンを押してから、ハンドセットを置きます。

### ソフトフォンでの発信

ソフトフォンから発信する最も簡単な方法は、ヘッドセット装着中にソフトフォンアプリケーションで番号をダイヤルすることです。自動的に通話に接続されます。コンピュータ通話ボタンを押して通話を終了します。

ソフトフォンの互換性ヘッドセットからのリモート着信応答/通話終了は、互換性のあるソフトフォンであれば追加手順なしで実行できます。ただし、Skype for Business を使用する場合を除きます。

## 通話を切り替える

固定電話の通話からコンピュータの通話（またはその反対）に切り替えるには、他方の通話ボタンを押して着信に応答するかまたは発信します。保留中のアクティブなオーディオは、点滅する赤いアイコンで示されます。

# トラブルシューティング

## 固定電話

ヘッドセットでダイヤルトーンが聞こえない。

ダイヤルトーンが聞こえるまで、スイッチャーで設定を調整してください。

ヘッドセットの音量ボタンを使って、受話音量を微調節してください。

それでも音量が低すぎる場合は、スイッチャーの受話音量ダイヤルを調整してください。

フックスイッチが動作する十分な高さまで、リフターがハンドセットを持ち上げていることを確認してください。必要に応じて、位置を高く設定します。

ワイヤレスヘッドセットを使用している場合、ヘッドセットがアダプターにペアリングされていることを確認します。ワイヤレスヘッドセットに付属しているペアリングの説明書を参照してください。

ヘッドセットが充電されていることを確認してください。

ヘッドセットのコールボタンを押してください。

雑音が聞こえる。

ワイヤレスヘッドセットを使用している場合、スイッチャーとコンピュータ間に 30cm 以上、スイッチャーと固定電話間に 15cm 以上の距離を取ってください。この距離を調整しても直らない場合は、ヘッドセットが通信可能範囲外です。スイッチャーの近くに移動してください。

音声にひずみがある。

スイッチャーの送話音量ダイヤルまたは受話音量ダイヤルあるいはその両方を下げてください。ほとんどの電話機について、適切な設定は 3 です。

固定電話機に音量コントロールがある場合、音声にひずみがなくなるまで音量を下げてください。

まだひずみがある場合は、ヘッドセットの音量コントロールを調節し、ヘッドセットスピーカーの音量を下げてください。まだひずみがある場合は、スイッチャーの受話音量を下げます。

ワイヤレスヘッドセットを使用している場合、スイッチャーとコンピュータが少なくとも 30cm 離れていることと、スイッチャーと電話機が少なくとも 15cm 離れていることを確認してください。

ヘッドセットでエコーが聞こえる。

スイッチャーの受話音量ダイヤルと送話音量ダイヤルを下げてください。ほとんどの電話機について、適切な設定は 3 です。

この設定でも音量が小さすぎる場合は、ヘッドセットの音量コントロールを調節し、ヘッドセットスピーカーの音量を上げてください。

この設定でも、通信相手にとって送話音量が小さすぎる場合は、ヘッドセットの位置を調整し、できるだけ口元に近い位置にマイクがあることを確認します。

設定スイッチを調節してください。通常使用されている設定は「A」です。これはデフォルト設定です。

通話の相手側で雑音が聞こえる。

ワイヤレスヘッドセットを使用している場合、スイッチャーを電話機から離してください。

電源（HL10 リフターのみ）が電源タップに接続されている場合は、コンセントに直接差し込んでください。

ヘッドセットリフターを取り付けているが、ヘッドセットが上がらない。

ヘッドセットリフターの電源コードがスイッチャーのヘッドセットリフター用ジャックにしっかり差し込まれていることを確認してください。

## ソフトフォン

ソフトフォンアプリケーションからダイヤルしてもまったく反応がない。

ヘッドセットがデフォルトのサウンドデバイスであることを確認します。[コントロールパネル] > [サウンド] の順に選択して、サウンドデバイスのコントロールパネルを開きます。

互換性のあるソフトフォンアプリケーションを使用していることを確認します。plantronics.com/software で、互換性のあるソフトフォンの一覧を参照できます。

ワイヤレスヘッドセットを使用している場合、ヘッドセットがアダプターにペアリングされていることを確認します。ワイヤレスヘッドセットに付属しているペアリングの説明書を参照してください。

ヘッドセットが充電されていることを確認してください。

Hub ソフトウェアがインストールされていることを確認します。ダウンロードは次のページから行ってください：

Hub ソフトウェアがインストールされておらず、互換性のあるソフトフォンがない場合は、最初にヘッドセットコールボタンを押し、次にソフトフォンインターフェースを使用して、通話の発信/応答/終了を行う必要があります。

コンピュータを再起動します。

送受話音量が低すぎるか、高すぎる。

ヘッドセットの受話音量を調整してください。  
コンピュータのサウンドのコントロールパネル/システム環境設定で送受話音量を調整します。  
ソフトフォンアプリケーションで送受話音量を調整します。

音声にひずみがある、またはヘッドセットでエコーが聞こえる。

ソフトフォンアプリケーションを使用して、コンピュータで送話音量または受話音量あるいはその両方を下げてください。

マイクを顎の方に向けてください。

それでもひずみが発生する場合は、ヘッドセットの音量を下げてください。

ワイヤレスヘッドセットを使用している場合、スイッチャーとコンピュータが少なくとも 30cm 離れていることと、スイッチャーと電話機が少なくとも 15cm 離れていることを確認してください。

コンピュータにオーディオ接続していない。

スイッチャーから USB ケーブルを外してから、ケーブルを再接続します。コンピュータのオーディオアプリケーションまたはソフトフォンアプリケーションを終了し、再起動します。

コンピュータのスピーカーから音声が聞こえなくなった。

Windows XP システムの場合

- コンピュータのコントロールパネルにある [サウンドとオーディオデバイス] オプションの [オーディオ] タブを参照します。



- [音の再生] の下で、デフォルトの設定を [Savi Office] からコンピュータのスピーカーに変更します。[OK] をクリックして、変更を確認します。

Windows Vista および Windows 7 システムの場合

- コンピュータのコントロールパネルの [サウンド] オプションを参照します。
- [再生] タブの下で、デフォルトの設定を [Speakers Savi Office] からコンピュータのスピーカーに変更します。[OK] をクリックして、変更を確認します。

Mac OS の場合

- アップルメニュー > [システム環境設定] を選択して、[サウンド] をクリックします。
  - [出力] をクリックして、[内蔵スピーカー] または目的のスピーカーを選択します。
-

## サポートが必要な場合

[plantronics.com/support](http://plantronics.com/support)

**plantronics®**  
Simply Smarter Communications™

### **Plantronics, Inc.**

345 Encinal Street  
Santa Cruz, CA 95060  
United States

### **Plantronics B.V.**

Scorpius 171  
2132 LR Hoofddorp,  
Netherlands

© 2107 Plantronics, Inc. All rights reserved. Plantronics、Plantronics のロゴ、MDA200、および HL10 は、Plantronics, Inc. の商標または登録商標です。Windows、Windows 7、Windows Vista、および Windows XP は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Nortel は Nortel Networks の登録商標です。Skype は Skype Limited の登録商標です。Apple および Mac OS は、米国およびその他の国で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。その他すべての商標は、該当する所有者により所有されています。

207844-17 (02.17)